PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター（JICA 関西）
2026 年 8 月 31 日

10 か国の ICT 専門家が京都の中学生と交流
日本の ICT 教育の現場を学ぶ

JICA 関西の事業で来日しているアジア太平洋、アフリカ、南米 10 か国の ICT 専門家が 9 月 10 日（木）京都市立大淀中学校を訪問します。開発途上国の公的機関で ICT に携わる行政官を対象に、神戸情報大学院大学において約 1 か月にわたり実施する「ICT 案件形成能力向上」研修の一環として、日本の ICT 教育の現状を学ぶために同校を訪問するものです。

開発途上国ではデジタル化が急速に進展しており、スマートフォン普及率は 80%を超えるとも言われています。また、農業や保健医療、教育など、途上国がこれまで抱えてきたさまざまな課題の解決に向けて、ICT に大きな期待が寄せられています。

JICA 関西では、「ICT を使っていかに社会をより良くできるか」というテーマのもと本研修を実施しており、関西の自治体や企業の ICT や DX に関する取り組みを学び、知見を共有する機会を提供する予定です。

京都市立大淀中学校では、10 か国の ICT 専門家が同校の ICT 担当教諭から日本の中学校における ICT 教育の説明を受け、意見交換を行います。生徒とは英語クラスで交流会を行います。また、同校生徒の合唱コンクール練習やクラブ活動の見学を通じて、日本の学校教育についても学びます。

以下の日程で取材・研修員へのインタビュー（英語通訳あり）が可能です。

日時：2026 年 9 月 10 日（木）12：20-16:00
場所：京都市立大淀中学校（京都府京都市伏見区淀下津町 257-7）
参加者：10 か国 11 名（各国の IT 関連省庁の技術者、政策立案者）
セントルシア、カンボジア、東ティモール、フィジー、ベリーズ、ペルー、タンザニア、ザンビア、カーボベルデ、ルワンダ

取材をご希望の場合は必ず事前に問い合わせ先までご連絡ください。

本件に関する問い合わせ先
JICA 関西　研修業務課
TEL　078-261-0383